



第1編2章1

近代的人間像の誕生(1)

p.32

ピコ = デッラ = ミランドラ

人間の自由

おお、アダムよ、汝には一定した住所をも固定した相貌(そうぼう)をも、特殊の機能をも与えなかったが、これは汝が、汝の意思と判断とに従って、いかなる住所をも、いかなる相貌をも、いかなる機能をも、思いのままに占め、かつ、もつことができるためである。他のすべての被造物の性格が限られており、指定された法則のうちに束縛されているのに、ひとり汝のみは何らの制限によっても束縛されていないが、これは汝が、汝の自由にまかされた意思に従って、汝の性格を形成することができるためである。

汝を世界の中心においたのも、そこから汝が世界のうちにあるどのようなものをも容易に観察することができるためである。汝を天上のものとしても、地上のものとしても、また死すべきものとしても、不死なるものとしても作らなかったが、これはどんな形態に関しても、汝がみずからの選択と名誉とをもって、汝みずからの形成者、創造者となることができるためである。汝は最下級の被造物である禽獣(きんじゅう)に墮落することもありうるが、しかし汝の魂の決断によって、神的な高級のものに再生することもできるのである。

(ピコ=デッラ=ミランドラ、植田敏郎訳『人間の尊厳についての演説』創文社)